

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	2 単位	学年	3 年	コース	L全
使用教科書	保育基礎(実教出版)			使用副教材等	なし				

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴、子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付ける。 ・子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴、子どもの福祉と文化などについて理解する。 ・子どもの保育に関連する技術を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特徴をふまえたおもちゃを考える。 ・状況を判断し、子どもとの適切なかわり方を考える。 ・実習での学びを全体場で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に実習に取り組もうとしている。 ・子どものかかわり方を考え、よい保育者として行動しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴、子どもの福祉と文化などについて理解している ②子どもの保育に関連する技術を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ③状況を判断し、子どもとの適切なかわり方を考えることができる ④実習での学びを振り返り、まとめることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤安全面や衛生面、身だしなみに考慮して実習に取り組んでいる ⑥習得した知識や技術を活用し、主体的に保育に取り組んでいる

担当者からのメッセージ	この科目は、保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付けるとともに、子ども一人一人の発達に適した保育環境を整えることの重要性について考え、地域の保育や子育て支援に携わることができる資質・能力を育成することをねらいとしています。保育検定の取得や保育園実習といった実践的な学習を通して、職業人としての意識や保育に主体的に関わる姿勢を身に付けることを目指します。
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	1章 子どもの保育 1節 保育の意義 ・保育の意義、役割、方法などを理解する	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">評価方法①【定期考査】</div> <p>評価方法⑤⑥【保育園実習態度】 評価方法③④【発表態度・実習記録簿】</p>
	5	2節 保育の方法 ・保育者は子どもとどのようにかかわり、環境を整えればよいか理解する	
	6	3節 保育の環境 ・家庭保育、集団保育の特徴について理解する	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園実習を通して、保育の意義、役割を理解する ・実習での学びを全体場で表現することができる ・保育検定 造形表現4級を取得する 	

<p>2章 子どもの発達 1節 子どもの発達の特徴 ・子どもの発達には順序性や個人差があることを理解する 2節 子どものからだの発達 ・新生児期・乳幼児期の発達過程とその生理的特徴について理解する 3節 子どもの心の発達 ・愛着関係の重要性について理解する。 ・保育園実習に向けて、子どもの年齢に応じたかかわり方を考える</p> <p>9 3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護 ・子どもの養護についての知識を身に付ける</p> <p>10 2節 生活習慣の形成 ・年齢に応じた間食を考え、調理する ・子どもの適切な生活習慣の形成について考える</p> <p>11 3節 健康管理と事故防止 ・子どもに多い病気のケアや事故への予防策について考える</p> <p>12 4章 子どもの文化 1節 子どもの文化の意義と支える場 ・子どもの文化、遊びと表現活動について理解し、課題を見つけその解決に向けて考察する 2節 子どもの遊びと表現活動 ・年齢に応じたおもちゃを考え、作成する ・保育園実習を通して、子どもとのかかわり方や保育技術を習得する ・保育園実習での学びを振り返り、まとめる(お礼状)</p>		<p>評価方法①【ワークシート(記述部分)】</p> <p>評価方法①【定期考査】</p> <p>評価方法③⑥【レポート(おもちゃ作り計画書)】 評価方法②⑥【おもちゃ】 評価方法⑤【調理実習態度】 評価方法⑥【調理実習記録簿】</p> <p>評価方法①【定期考査】</p> <p>評価方法⑤⑥【保育園実習態度】</p>
<p>3 1 5章 子どもの福祉 1節 保育観 ・児童観の変遷と児童福祉の理念や制度について理解する 2節 子どもの福祉 ・子どもの福祉を支える場や制度を理解し、これからの子育て支援の課題を探る</p>		<p>評価方法③④【発表態度・実習記録簿】</p> <p>評価方法①【定期考査】</p>